



掛川の子どもたち

このリーフレットは、掛川市の子どもたちの全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせし、家庭、地域、学校が連携して、子どもたちの力を伸ばし、子どもたちを育てていくために作成したものです。

なお、今年度は平成 21 年度の分析に加えて、これまで 3 年間の共通の傾向や課題についての考察を加えました。

《調査概要》

調査実施日

平成 21 年 4 月 21 日 (火)

対象調査

小学校：6 年児童 中学校：3 年生徒

調査内容

○ 教科調査

・小学校調査 (国語 A・国語 B・算数 A・算数 B)

・中学校調査 (国語 A・国語 B・数学 A・数学 B)

A：主として「知識」問題 B：主として「活用」問題

○ 質問紙調査

・生活習慣や学習環境、規範意識、教科に対する意欲などについての 77 項目の質問

○ 学校に対する調査

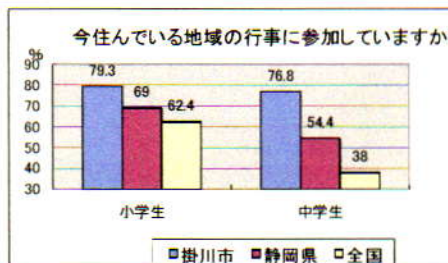
・学校における指導方法に関する取組及び学校における人的、物的教育条件の整備の状況等に関する小学校 98 項目、中学校 95 項目の質問

質問紙調査から見た

生活や学習の状況

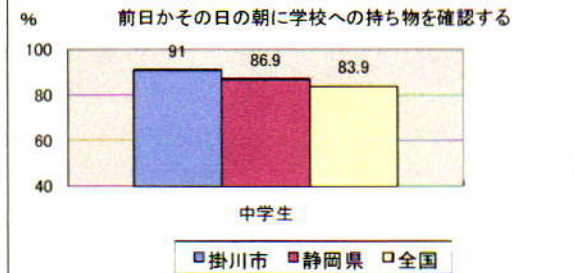
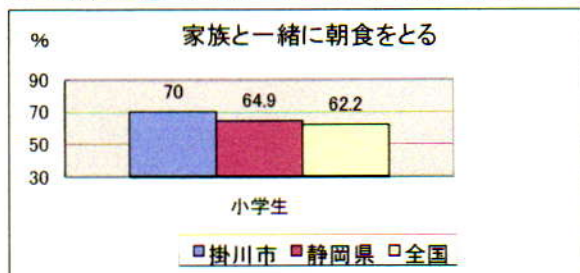
地域の行事に積極的に参加しています。

小学生の 79.3 %、中学生の 76.8 %が「積極的に地域の行事に参加している」と回答しました。子どもたちが地域で大切に育まれていることがわかります。



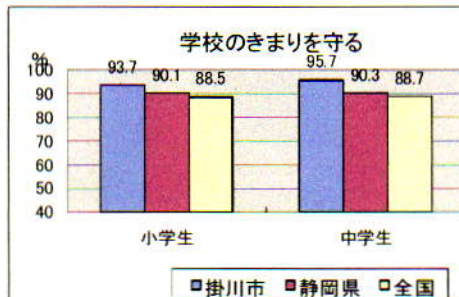
家庭では規則正しい生活を送っています。

小学生は「家族と一緒に朝食をとる」「早寝・早起きをする」と回答する児童が、中学生は「学校への持ち物を確認する」と回答する生徒が多く、規則正しい健康的な生活を送っていることがわかります。



学校ではまじめな態度で学習しています。

「学校のきまりを守る」と回答した子どもが県・全国に比べて高く、さらに中学校においては「授業に積極的に参加する」「学校での学習の時間が大切で役に立つと思う」と回答する子どもが多く、まじめな態度で学習していることがわかります。



3 年間通しての結果の考察

3 年間ともほぼ同じ傾向であり、健全な家庭生活を送り、地域で大切に育まれ、学校では学習にまじめに取り組んでいます。

小学校 「知識」に関する問題の正答率は県及び全国以上でした。「活用」に関する問題の正答率は県及び全国を下回りました。

中学校 「知識」に関する問題の正答率、及び「活用」に関する問題の正答率の両方とも、県または全国以上でした。

よくできた問題

次の漢字を書きましょう。

(小学校6年生：知識)

人の意見にさんせいする。



あまりできなかった問題



〔お菓子をつくっている美奈を主人公にして書かれた物語の一部を読み、その文章の表現のくふうについて説明したものとして、もっともふさわしいものを選ぶ問題〕

(小学校6年生：知識)

3年間通しての結果の考察

【小学校】

- ・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の中では、「書くこと」が一番優れている。(国語A)
- ・ 平成20年度は「言語事項」(国語A)、平成21年度は「読むこと」(国語B)に関する問題ができなかった。

【中学校】

- ・ 古典の問題はよくできた。(国語A)
- ・ 「書くこと」に関する問題がよくでき、必要な情報を集め、目的に合わせ工夫して文章を書く力がある。(国語A/国語B)
- ・ 平成21年度は「言語事項」に関する問題ができなかった。(国語A)

さらに子どもたちの力を伸ばすために

- ・ 図書館などを利用して、いろいろな分野の本を読みましょう。
- ・ 漢字書き取りなど、自分で決めた学習に毎日取り組みましょう。
- ・ 新聞やテレビのニュースを家族の話題に取り上げましょう。

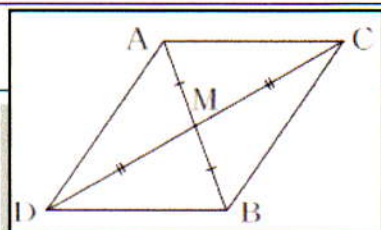
教科調査から見た 算数・数学

小学校 「知識」に関する問題の正答率は県及び全国以上でした。「活用」に関する問題の正答率は県または全国以上でした。

中学校 「知識」に関する問題の正答率、及び「活用」に関する問題の正答率の両方とも、県または全国以上でした。

よくできた問題

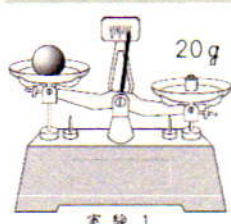
右の図の2つの線分ACとDBが平行になることを証明する際に、四角形ADBCの図形を答え、その平行四辺形になるための条件を選ぶ。(中学校3年生：活用)



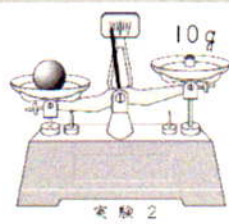
あまりできなかった問題

3つの実験を基に、5つの候補の中から黒の球の重さを選ぶ。

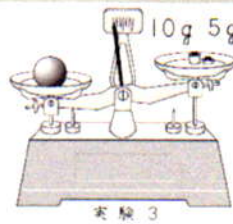
(小学校6年生：知識)



実験 1



実験 2



実験 3

9g
13g
15g
17g
24g

3年間通しての結果の考察

【小学校】

- ・ 図形の定義や性質を理解して答える問題がよくできた。(算数A/算数B)
- ・ 分数と小数の計算問題がよくできた。(算数A)
- ・ グラフを見て必要な情報を取り出す問題ができなかった。(算数B)

【中学校】

- ・ 図形の性質を良く理解している。(数学A/数学B)
- ・ 文字式や方程式の問題が良くできた。(数学A/数学B)
- ・ 平成21年度は、比の意味、正と負の数についての問題ができなかった。(数学A)

さらに子どもたちの力を伸ばすために

- ・ 計算練習など基礎的・基本的な学習を大切にしましょう。
- ・ ふだんの生活で、どのくらいの長さ、どのくらいの重さ、どのくらいの距離、どのくらいの時間なのかをはかったり、計算したりして、算数・数学に親しみましょう。
- ・ 筋道を立てて考えたり、説明したりするようにしましょう。

子どもたちの生活と学力の関係はどうなっているでしょう

次のような子どもは、国語、算数・数学の正答率が高い傾向が見られます。

小学校、中学校共通

- ・ 朝食を毎日食べる。
- ・ 友達との約束を守っている。(小学校では3年間とも)
- ・ 家で学校の宿題をしている。(小学校及び中学校において3年間とも)
- ・ 学校に持って行くものを、その日の朝か、前日に確かめている。(小学校では3年間とも)
- ・ 授業の内容がよくわかる、勉強は大切だと思う、解答時間は十分あるなど学習に対して肯定的に答える。(小学校及び中学校において3年間とも)

小学校

- ・ いじめはどんな理由があってもいけないと思う。
- ・ 学校で友達に会うのは楽しい。
- ・ ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。(3年間とも)

中学校

- ・ 学校の規則を守っている。(3年間とも)
- ・ 普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられている。
- ・ 人の役に立つ人間になりたい。

「学校に対する調査」から見た掛川市の小・中学校の特徴

小学校 (下線は3年間とも)

学校図書館が充実し、朝読書などの読書活動が行われている学校が多い。

中学校 (下線は3年間とも)

生徒の授業中の私語が少なく、落ち着いており、生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めてる。

さらに子どもたちの力を伸ばすために

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、規則正しい生活をするのが大切です。
- ・ きまりや約束を守って生活するのが大切です。
- ・ 普段の生活の中で、「やった、できた」という思いをさせたり、感謝の言葉をかけたることが大切です。

学校は、次の4点に力を入れて取り組みます。

- ・ 子どもがわかった喜びを味わえるような授業づくりに努めます。
- ・ 基礎的・基本的な知識を身につけ、活用の力を育みます。
- ・ 生徒指導や学級づくりの充実を図ります。
- ・ 家庭や地域との連携を一層すすめます。

全国学力・学習状況調査で測定できるのは、学力や生活の一部であり、ここにあげたことが必ずしもすべての子どもに当てはまるものではありません。これを一つの資料として、子どもたちの学習・生活がより良いものになるように家庭、地域、学校が連携していきましょう。

掛川市教育委員会学校教育課

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1 TEL 0537-21-1156 FAX 0537-21-1172
E-mail: gaku-kyoiku@city.kakegawa.shizuoka.jp